

# 2012年度 理事長:三浦新介

スローガン

～原点回起～

現在(いま)を生き抜くJAYCEEの使命を胸に  
描こう「魅力溢れる未来」  
紡ごう「誇り高き静岡」

基本方針

1. 変わることはない本質と時代に合わせた組織基盤の確立
2. 未来を見据えたこのまちの危機管理と地域コミュニティの再生
3. 夢や目標を簡単に諦めない「生き抜く力」を育む青少年事業の実施
4. 現在(いま)を大切に生きる重みを知り「魅力に溢れた真の大人」になる為の資質の研鑽
5. 目まぐるしく移りゆく時代の中で輝きを放つ「誇り高き静岡」の創造
6. 互いを尊重し分かち合うことで成し得るL O M力の増強



第七代理事長  
三浦新介

所信要約

2011年、「東日本大震災」いう大災害に加え、景気の低迷、少子高齢化など、例を挙げればきりが無いほどの様々な社会問題が蓄積しています。現在(いま)を生きることには真剣に向き合い、「誰かに責任を委ねるのではなく、愛する大切な人やまちは自分が守る」。そのような気概でJC運動に取り組めば、JCに在籍していることに誇りが持てるようになります。そんな中、まずは今後も地域に根差した公益性の高い組織として、規律が遵守された会務運営を行います。

次に、震災を教訓にして相互援助ネットワークの強化へ、JCの枠を超え行政や関係諸団体と有機的に機能させる仕組みを構築します。そして、危機管理マニュアルの改訂と会員の意識統一の徹底を図ります。また、災害時に必要とされた地域コミュニティの大切さを再認識し、それを再生させます。そして、生き抜く力を育む青年事業として未来学園を実施し、最後まで挑戦し夢や目標を叶える喜びと感謝を見いだせる事業を展開します。三信条のひとつである奉仕、すなわち復興支援活動を通して限られた青年期を大切に過ごし、そこで得た経験を人生に役立てると同時に、奉仕の心を学び、さらにリーダーとして必要な品格や柔軟性を兼ね備え、魅力あふれる真の大人となるよう取り組むことが重要です。最後に誇り高き静岡の真のローカリストとなるため静岡を誇り地域を愛する心を一人一人が育むことが必要であり、私たちがアンバサダーとなり広めていく運動をしていきます。



事業・例会

- 例会
1. 5月度第一例会「青年経済人の理想品格を学ぶ 岩崎究香公演」 会員魅力創造委員会 下村聡
  2. 9月度例会 ～共助「静岡モデル」の創造～ 危機管理委員会 内藤雅敏
  3. 10月度例会 出向者支援活動 出向渉外委員会 栗山勝訓
- 事業
4. 会員拡大事業 1月度例会、入会体験セミナー 拡大委員会 藤山直紀
  5. 被災地復興支援活動 (3月度例会 10月度例会) 明るい未来創造委員会 瀬口勇一郎
  6. 次年度法人格移行に向けた準備作業 財政審査委員会 花森崇行
  7. 清水みなとまつり 誇れる文化継承委員会 鈴木弘 十全委員会
  8. しずおか未来学園 ～「志」!夢学校～ 夢社会創造委員会 殿岡勇基
  9. しずおか未来学園 ～生きる力から生き抜く力へ～ 「心の強さ」育む委員会 大高彰典
  10. JC旗争奪少年サッカー大会 「心の強さ」育む委員会 大高彰典
  11. ホームページの運営・管理 会員魅力創造委員会 下村聡
  12. 地域コミュニティ事業 「アクションプランin足久保」 地域コミュニティ推進委員会 福島清志
  13. わんぱく相撲 静岡の誇り継承委員会 武中(森)麻貴

2011年度は、静岡青年会議所としても永きに渡り推進してきた運動を見つめ直し、「震災後」を生き抜かなくてはならない責任世代としての基本計画に則り活動した、まさしく「原点回起」の年でした。

どんな一年か

震災を教訓に地域コミュニティの再認識、再構築、また、危機管理マニュアル作成や他機関との連携による相互援助ネットワークを構築しました。その結果、減災だけでなく、暮らしやすいまちづくりの第一歩を踏み出すことが出来ました。また、被災地支援の一環で被災地復興事業に取り組み、奉仕の心をみがき、貴重な経験を人生に役立てるために活動が行われました。そして、魅力溢れる未来を創るために、青少年育成事業である未来学園2012を行い、子供たちへの未来、夢や目標に向かって力強く生き抜く力を養うために、自衛隊での体験訓練(基本教訓)をおこないました。最後に、リーダーとしての品格や魅力などを学ぶ青年経済人セミナーを実施し、誇り高き静岡の真のローカリストとなるための研修活動を行いました。その結果、「誰かに責任を委ねるのではなく、愛する大切な人やこのまちは自らの手で守る」誇り高き静岡青年会議所であり続けることができることを願って活動された年となりました。



コミュニティ事業



危機管理例会



未来学園



未来学園